

1 開会

2 議事

(1) 委員変更に伴う会長職務代理者の指名

前任委員の退任に伴い、長崎市立中学校長会より就任の委員を指名

(2) 特別展視察

指定管理者より概要説明、会場視察後に質疑応答

【委員】最後のタマゴの解析において、タマゴの中身が確定後に、投影される演出などあったらより楽しいと感じた。

【委員】恐竜の声がどんなものか、今の研究でもわかっていない。鼻や耳の化石から、聞き取れる周波数を調べる研究もある。そういう説明展示があってもよいのではないか。

【委員】消化器の化石が徐々に発見されていることもあって、恐竜の内臓の形はこうだろうという予想図がパネルに示されている。わかっていないことは何なのか、わかっていることは何なのかという科学的な姿勢を伝えることも大切なことで、研究者の視点が観覧者の方に伝わればよりよいと感じた。

【委員】展示内容に対して学習室は狭かったのかもしれない。より広い会場であれば、テーマを広げることができたのではないか。

【委員】恐竜模型は3体設置されていたが、それより少ないと空間を持て余す印象になるのかもしれない。その点をどのように考えたのか。

【指定管理者】当初は2体配置の案だったが、3体配置とした。それでも、動線としては早く終わってしまうが、滞在時間をどこでとるかは今後考えていきたい。

【委員】説明パネルだが、じっくり見せる必要があるのでは。室内がやや暗く、パネルの存在に気づきにくい。スポットライトなど照明を足して、足を止めてもらう工夫が欲しい。

【委員】予算もあるだろうが、人感センサーのような仕組みがあるとよい。

【指定管理者】恐竜模型は人感センサー仕様である。パネルはともかく、契約の関係から機械の改修はできないため、期間中の仕様変更は難しい。

【委員】パネルに注目してほしいと思うが、小さなお子さんは動くロボットがあればそちらを注目するだろうとも思う。一定地点までいかないとロボットが見えないなどして、その通路にポスターなどあれば見るのではないか。

【委員】今回の展示について、説明文に読み上げ機能があれば、子どもでもわかりやすいのではないか。また、パネルの前で立ち止まる工夫としても、恐竜の声もあるので、カーテンで仕切るなどしてちょっとした空間を設けてもよいと思う。

【委員】解説にかかる人員配置はないのか。

【指定管理者】安全のための見回りスタッフはいるものの、解説員の配置はしていない。

【委員】皆さんが問題としているのが「説明や掲示物はあって、内容に沿ったクイズもあるものの、利用者の自主学習まかせと感じる」「掲示物も目立たず立ち止まりにくく、素通りしてしまっている」「模型には目が向くものの、解説までは目がいかない状況」として指摘が多くあっていることから、読み上げ音声、照明の追加、空間を設ける、解説員が補助するなどアイデアが出ている。実現できそうなところは改善いただきたい。

【委員】出口に設置している化石レプリカについて、飾っているだけの様子で、もったいないと感じる。草食恐竜なのか肉食恐竜なのかわからない。小さいものでもよいので、どういう恐竜のどの部分なのか、わかるようなイラストを添えたら伝わると思う。

【指定管理者】レプリカはお借りしているものになるが、説明用掲示物の準備が間に合わず、スタッフが解説を行うことになった。草食・肉食は歯の形でわかる。いろんなストーリーがあるのに、説明しきれていないことは、もったいないと確かに実感している。

【委員】恐竜の解説は、大人でもおもしろいと感じる。利用者の方が持ち帰るものが多くなるようであると、とてもよい。

(3) 令和7年度の事業報告について

事務局および指定管理者より説明後に質疑応答

【委員】3点お尋ねしたい。1点目は、令和7年度より実施の「年間パスポート」販売状況について、販売目標に対し実績がどうだったか。また令和8年度からの利用料金改定の影響はどうか。2点目は、年間パスポートの特典について。年間パスポートのメリットをご存じない方が多いのではないか。3点目は、プラネタリウム上映内容について、毎年変更しているか。また選定をどのようにしているか。プラネタリウム観覧料無料は年間パスポート購入のメリットの一つであると考える。

【指定管理者】1点目のご質問について、年間売上目標を設定してないが、令和7年度は98万円の売り上げとなった。令和8年度の販売状況は、令和8年4月から6月までの四半期で31万円、前年度同時期は27万円となっている。2点目のご質問について、常設展示・プラネタリウムの有料施設が1年間何度でも利用できるのに加え、春・夏・冬の各特別展において、開催中1回限り無料となる特典がある。特典の説明は、受付に来られた方、お尋ねがあればご案内をしており、ホームページにも掲載しているが、浸透していないということであれば、当館の周知不足と考える。

【事務局】補足であるが、1点目のご質問について、令和7年度年間パスポート販売枚数については、大人286枚、子ども276枚、計562枚購入いただいている。令和8年3月は、計116枚購入がっており、料金改定前の駆け込み需要があったと考えている。令和7年度の年間パスポートによる観覧状況は、常設展示1,939人、プラネタリウム1,369人、全天周映画253人となっており、年間購入枚数562枚から単純計算しても常設展示において一枚あたり3.5回分利用いただいている。また令和8年4月から6月までの四半期において、販売枚数としては、前年度同時期より減となっているが、料金改定があったので収入は増となっている。2点目については、夏の企画展は有料で実施されているが、今のところ冬と春の企画展は入場無料で実施していることから、夏の特別展の1回無料が実質的なメリットであると考える。

【委員】販売実績について件数としては満足しているか。

【事務局】販売目標は設定していないが、市としては、足を運んでもらう仕掛けづくりとして導入した経緯から、令和7年度購入件数562件という数値については評価している。

【委員】平均して3回以上は年間パスポートを利用しているということで、年1回の方が、3回は足を運んでいるという、変化が出てきているということか。

【事務局】料金設定では、常設展示およびプラネタリウムにおいて2.5回利用を想定していたことから、パスポート購入者に関しては、設定料金を上回る利用があっていると捉えている。このことから頻繁に来館くださる利用者は年間パスポートを選択いただいている状況であるといえる。

【委員】科学館側が期待した来館者数の増加、利用者側のコスト的なメリットにおいてWin-Winとなっていると理解した。

【指定管理者】3点目のご質問、プラネタリウム選定について、年間8番組として毎年変更している。配給会社5社から新作やおすすめ案内があって、すべての番組に目を通したうえで、予算の範囲内で決定している。全天周映画2本、プラネタリウム番組6本の構成になるが、番組によって契約期間は半年～1年と異なり、うまくつなぐようにして運用している。

【委員】1年間通しで上映する番組は少ないのか。

【委員】委員のご心配の点は、年間パスポートで何度足を運んでも、毎度同じ上映内容になってないか、ということでは。

【委員】年間パスポート購入者に購入理由を尋ねると「プラネタリウムが何度でも見られるから」との回答が多かった。常設展示は、そんなには変えられないので、やはりプラネタリウムには力を入れてほしい。

【指定管理者】補足として、年間パスポート購入者の中には1日のうちに3本御覧になった方もいるなど、利用の変化もあっている。

【委員】集客方法について。いまはイベントの案内は「tetoru」（小中学校向け保護者連絡サービス）による配信であるが、長崎市PTA連合会でも話題になるが、保護者の方は「tetoru」はサッと見るだけで、内容を読み込むことがない。一度に5件も配信があつたりすると、読み飛ばしてしまう方も多く、科学館からの案内も素通りで終わっていることもあると思われる。PTA会長として各地域のイベントに参加すると、「Instagram」の影響力を実感する。まず情報の拡散力が強く、時間の合間に閲覧している保護者も多い。科学館の年間パスポートや企画展も「Instagram」に掲載すると、コストもかからず広く周知できると考えるが、活用はどうか。

【指定管理者】長崎市科学館も「Instagram」のアカウントは作成しているが、フォロワー数は伸び悩んでいる。今年については、インフルエンサーに依頼し、夏の特別展を取材してもらった。現在編集中のため、後日アップされる予定である。ほか集客方法として、長崎ケーブルメディアや長崎新聞社、エフエム長崎において、招待券のプレゼント企画やCMを実施していただくなどして周知を図っている。

「tetoru」は保護者向けであって、児童生徒には伝わりにくいとと同じく考えており、団体見学で来館された児童にチラシを手渡し引率の先生にポスターをお預けするなど行った。また、今年新たに行った取り組みとしては、市内ホテルにチラシ設置を依頼し、なかにはポスターも掲示してもらい、市内だけでなく、市外や県外の方も取り込む狙いである。

【委員】インフルエンサーの方の投稿による集客効果がどうだったのか、次回報告いただきたい。

【指定管理者】投稿を見て来館された方には恐竜ミニカーをプレゼントする企画を考えているので、それにより効果検証を行う。

【委員】科学館においても、デジタル・アナログ、直接・間接問わずあらゆる手法で周知に取り組んでいることが理解できた。

【委員】6月来館者数の減について、団体見学者数を要因として挙げていたが、来館者数に入っていない、ということか。

【指定管理者】団体見学者数は、来館者数に含まれている。見学の児童数の減少が影響して、来館者数が減となったと考えている。今年度も減少傾向にあり、子どもの数が減っていると考えている。

(4) 令和8年度の事業計画について

指定管理者より説明後質疑応答

【委員】参加費有料の「科学教室」の開催数を減らし、無料の「チャレンジサイエンス」の実施数を増

やしたとのことだが、「チャレンジサイエンス」はどんな内容か。

【指定管理者】工作室で実施する科学工作であり、20分程度で、小さなお子さんでもできるような内容になる。

【委員】夜間天体観望会について、上期と下期と開催時間帯を分けて実施するよう変更した説明があったが、開催の周知はどのように行っているか。

【指定管理者】実施するかどうかは、天気に影響されるため、当日にならないと判断できないことから、すべてホームページに掲載している。「Instagram」による発信は行っていない。

【委員】天体観望はリピーターの利用者が多いのか。

【指定管理者】参加者は、ご近所の方が多く印象がある。時折、遠くから来られる方もいるが、ご近所の方、天体が好きな方が多い。

【委員】そうした方々には、ホームページを確認いただくより、観望会参加者をコミュニティとした連絡方法とるなど、個別のつながりでお知らせする検討はないか。

【指定管理者】会社の方針もあって、個人情報に極力持たない運用をしているので、個別のお知らせは行っていない。

【委員】LINEでは個人情報をとらないオープンチャットを作成できると認識している。リピーターの方も科学館に愛着を持っていただいていると思う。地域とのつながりとして、今後検討いただきたい。

【委員】地域とのつながりに関連して、サイエンスサークルや、自主学習グループなどの登録はどうか。興味がある方のグループは把握しているか。

【指定管理者】サイエンスサポーターの登録制度があり、イベント時の手伝いなどのお願いしている。子どもは、科学クラブや発明クラブに参加してもらうことでつながりがあるが、大人の方のサークルグループというのは把握していない。

(5) その他

【委員】育成連を代表して会議に参加している立場として、昨年の会議の中で、科学館の利用促進の面も踏まえて一緒に連携していきたいとお話させていただいた。現在、科学館のスタッフと調整しながら、180人規模の親子イベントの2月開催に向けての準備を進めていることをご報告させていただく。

【委員】その他に意見が無いようなので、本日の議事を終了する。

以上